

福



# 夢の図書館

2月号

The you-me-no library news



令和4年2月1日発行 (第222号)

編纂 夢野台高校図書委員会

皆さんこんにちは！まだまだ厳しい寒さが続いていますね。2月は節分やバレンタイン、試験などのイベントがあります。図書館にはためになる本や面白い本があり、自習用の机もあるのでぜひきてくださいね！また、本校の先生方がオススメした本が紹介されているスペースもあるので気になる方は見てみて下さい。ところで皆さん、今年の芥川賞・直木賞の選考会が先月19日に行われたことをご存じでしょうか。今年は、芥川賞に砂川文次さんの「ブラックボックス」、直木賞に今村翔吾さんの「塞王の楯」と米澤穂信さんの「黒牢城」に決まったそうです。もちろん我が校の図書館にあります！是非、読んでみてください。



生きるとは、自分の物語をつくること 著 小川 洋子、河合 隼雄

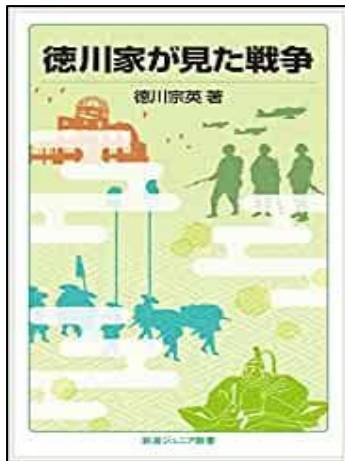
人々の悩みに寄り添い、個人の物語に耳を澄まし続けた臨床心理学者と静謐で密やかな小説世界を紡ぎ続ける作家。二人が出会った時、『博士の愛した数式』の主人公たちのように、「魂のルート」が開かれた。子供の力、ホラ話の効能、箱庭のこと、偶然について、原罪と原悲、個人の物語の発見…。それぞれの「物語の魂」が温かく響き合う、奇跡のような河合隼雄の最後の対話。



同志少女よ、敵を撃て 著 逢坂冬馬

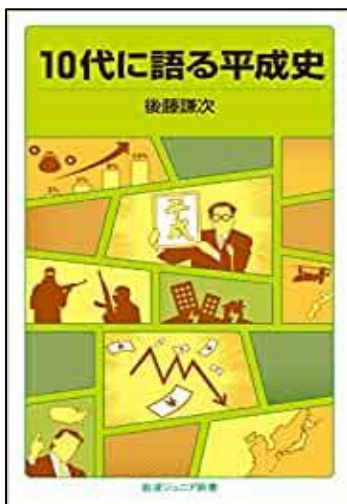
第2次世界大戦時、最前線の極限状態に抛りこまれたソ連の女性狙撃手セラフィマの怒り、逡巡、悲しみ、慟哭、愛が手に取るように描かれ、戦争のリアルを戦慄とともに感じさせる傑作である。

読者は、仇をとることの意義を考えさせられ、戦争の理不尽さを思い知らされ、喪失感と絶望に襲われながらも、セラフィマとともに血なまぐさい戦場を駆け抜けることになるに違いない。



徳川家が見た戦争 著 徳川宗英

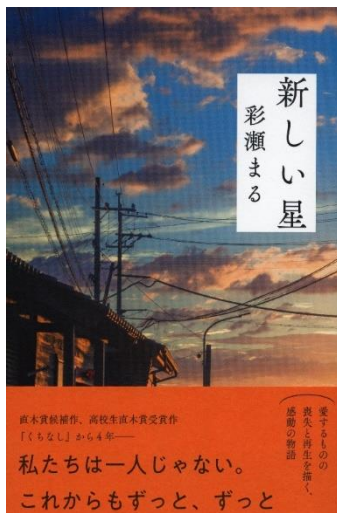
260年におよぶ泰平の世を謳歌した江戸時代。幕府を支えた田安德川家の第十一代当主が、戦争への道を歩んだ明治以降の日本社会の軌跡を考察する。二度と戦争を起こさないためには何が必要なのか。筆者の海軍兵学校時代の体験をまじえて語る若い世代のための平和論。



10代に語る平成史 著 後藤謙次

消費税導入、バブル経済の終焉、選挙制度改革、冷戦構造の崩壊、テロとの戦い、自然災害…。政治ジャーナリストとして歴史の現場を目撃してきた著者が、波乱に満ちた平成の歴史をわかりやすく解説します。

平成30年間で社会はどのように変わったのでしょうか？新しい時代を生きるために必読の現代史入門です。



新しい星 著 彩瀬まる

幸せな恋愛、結婚だった。これからも幸せな出産、子育てが続く…はずだった。順風満帆に「普通」の幸福を謳歌していた森崎青子に訪れた思いがけない転機…。

娘の死から、彼女の人生は暗転した。離婚、職場での理不尽、「普通」からはみだした者への周囲の無理解。「再生」を期し、もがけばもがくほど、亡くした者への愛は溢れ、「普通」は遠ざかり…。

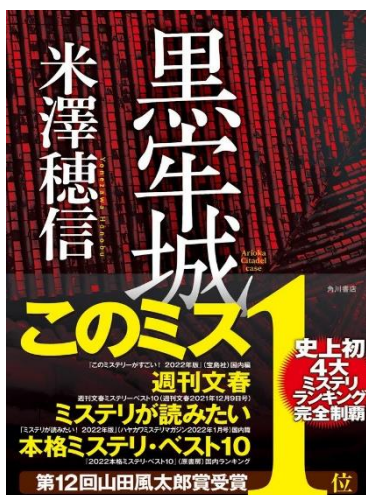
愛するものの喪失と、再生を描く、感動の物語。



他人の心理学 著 渋谷昌三

皆さんは、誰かがしきりに「みんなもやってる」「みんなも〜…」と言っているのを聞いたり、すぐに一目ぼれしたり、街中で眩しくもないのにサングラスをかけている人を見たことはありませんか？もしかしたら、「それ、自分かも…」という人もいられるかもしれません。なぜそうなるのか、その謎を解いてくれるのがこの本です!!

この本では、相手の行動だけでなく笑い方や顔のパーツなど、様々な観点から人の心理を紐解いていきます。一概にそうとは言えなくとも、「あ〜わかる!!」というシチュエーションもあるはず。ぜひ一度手に取ってみませんか？



黒牢城 著 米澤穂信

時は本能寺の変より四年前、天正六年の冬。織田信成を裏切った荒木広重と、織田方の囚人として捉えられた黒田官兵衛含む有岡城は、織田家の軍勢が攻め来る中、緊張に包まれていた。そんな中、城内である「不可解な事件」が起き、人々は困惑の色にそまっていく…。

第166回直木賞作であるこの本は、読んでいくうちにどんどんと昔の世界観に引き込まれていきます。最後のどんでん返しまできっと、目が離せなくなるはず。まだ読んでことのない方は一度手に取ってみませんか？



旅猫リポート 著 有川浩

本作の主人公、ナナは気位の高いオスの野良猫。もともとはひとりっきりで生活していましたが、交通事故をきっかけに、人間にしては猫の気持ちが分かる宮脇悟の飼い猫に。

もともと2人はナナが野良時代から交流があり、一緒に暮らし始めてもその仲の良さは変わりませんでした。しかし5年経った頃、宮脇はナナを手放さなければならなくなり、旅へ出ます。あんなにうまくやっていた2人がなぜ別れることになってしまったのか？ 悟の「ある隠された秘密」と共に、二人が行きつく先は…。猫好きには特にたまらない、とにかく温かくて、とにかく泣ける作品です。

★2022年1月新着図書の紹介（寄贈も含む）★

書名	著者名	出版者	備考
黒牢城 = Arioka Citadel case	米澤穂信	KADOKAWA	第166回直木賞受賞
塞王の楯	今村翔吾	集英社	第166回直木賞受賞
同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	早川書房	第166回直木賞候補
新しい星	彩瀬まる	文藝春秋	第166回直木賞候補
ミカエルの鼓動 = The Justice of St.Michael	柚月裕子	文藝春秋	第166回直木賞候補
皆のあらばしり	乗代 雄介	新潮社	第166回芥川賞候補
シン・ニホン：AI×データ時代における日本の再生と人材育成	安宅和人	ニューズピックス	
近藤誠一全集 1／対談. 1（日本人-和の目洋の目）	近藤誠一	写真文化首都「写真の町」東川町／かまくら春秋社	
SDGs ダイバーシティ BOOK：みんなが“生き、活かされる”社会をつくる	佐藤真久	宣伝会議	
Newton 数学の教養教室 三角関数編		ニュートンプレスマーケティング	

